

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

|         |               |
|---------|---------------|
| 事業所番号   | 3873800373    |
| 法人名     | 有限会社清水商事      |
| 事業所名    | グループホーム宇和ひまわり |
| 所在地     | 西予市宇和町坂戸336-1 |
| 自己評価作成日 | H23年10月12日    |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載](#)

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会 |
| 所在地   | 松山市持田町三丁目8番15号    |
| 訪問調査日 | 平成23年11月11日       |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者本位でしたい事をしてもらい、笑顔で過せるような対応に努めている。自然豊かな環境で静かでゆったりと過ごせる。ホーム前にはアパートがあり、子供達も遊びに来て利用者と触れ合う機会がある。買い物や外出を多く取り入れ利用者に喜んでもらえるよう支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

近隣の住民等と気軽にあいさつをしたり、近くの農家から畑の作物をお裾分けしてもらう等、普段からの付き合いができています。また、事業所の持つ知識や機能を社会資源として活用してもらえるよう取り組んでおり、地域に貢献する姿勢がうかがえる。職員は、利用者を年長者として敬いながら、親しみやすく優しい声かけをしており、利用者本位のケアが提供され、利用者と職員がお互いを思いやる温かい関係が築かれている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  | 項目 |   | 取り組みの成果<br>↓該当する項目に○印  |
|----|--|--|----|---|--|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいの<br>3. 利用者の1/3くらいの<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)     | ○<br>1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)             | ○<br>1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                       | ○<br>1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                   | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○<br>1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くない            |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)     | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66 | 職員は、活き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)  | ○<br>1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                  | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う   | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)         | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                     | ○<br>1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |    |   |  |

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含まれます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含まれます。

● チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含まれます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム宇和ひまわり

(ユニット名) A棟

記入者(管理者)

氏名 土居 ひとみ

評価完了日 23 年 10月 12 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

| 自己評価              | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|-------------------|------|--|---|-------------------------------|
| <b>I.理念に基づく運営</b> |      |  |   |                               |
| 1                 | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている   | (自己評価)<br>職員で話し合い「笑顔ある生活」と理念や指針を決め、いつでも目にするとところに貼り付け意識付けをしている   |                               |
|                   |      |  | (外部評価)<br>「笑顔のある生活」という理念を実現させるために、利用者の状態をしっかりと見つめ、関わっている。また、職員が「笑顔」になることで「笑顔のある生活」を利用者に提供することができるよう、日々実践している。                       |                               |
| 2                 | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している   | (自己評価)<br>近所の方への挨拶や声かけをしている。輪抜け・お祭りや運動会など地域の行事参加をしたり、保育園児や婦人会からの来訪も定期的に受けている  |                               |
|                   |      |  | (外部評価)<br>隣接しているアパートの住人や、散歩で通る道沿いの住人と気軽にあいさつができる関係が構築されている。近くの農家から畑の作物をお裾分けしてもらったり、日頃からの付き合いができています。さらに、ホームが社会資源として地域に協力できるよう努めている。 |                               |
| 3                 |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | (自己評価)<br>外出やボランティアの受け入れなどを通じ、理解をってもらうよう心掛けている  |                               |
|                   |      |  |   |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)  |
|------|------|---|--|--|
| 4    | 3    | ○運営推進会議を活かした取組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている      | (自己評価)<br>行事参加で利用者の方との交流をしてもらったり、行事報告などしている。会議での意見を参考になっている。   |  |
|      |      |   | (外部評価)<br>運営推進会議と行事を関連付けて開催することで、運営推進会議の参加者に利用者の生活状況が理解してもらいやすく、利用者のサービス向上に直結する話し合いが行われている。                      |  |
| 5    | 4    | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                | (自己評価)<br>運営推進会議で実情報告を行い、意見を得ている。相談員の方には年2回来訪してもらっている。   |  |
|      |      |   | (外部評価)<br>市担当者や他のホームと連携しながら研修会や勉強会の開催等、協働しており、行政側からは地域福祉の先導役としての期待が寄せられている。市担当者とは堅固な協力関係が構築されている。                | ホームの運営がより地域に密着するためには他の社会資源とのつながりも必要である。まずは、地域包括支援センターの職員に運営推進会議への出席を呼びかけ、良好な関係構築を目指すよう取組みに期待したい。 |
| 6    | 5    | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価)<br>職員間で話し合いながら、身体拘束をしないよう取り組んでいる。玄関には開いたら音が出るような工夫をしている。  |  |
|      |      |   | (外部評価)<br>管理者は身体的な拘束はもちろん、精神的な拘束をしないよう機会を見つけて職員に伝え、時には注意を行うよう取り組んでいる。職員は言葉遣いや口調等、声かけに注意を払い、利用者の行動制限をしないよう心がけている。 |  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 7    |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている      | (自己評価)<br>利用者とのコミュニケーションでストレスをためないように会議で接し方など話し合う。   |                               |
| 8    |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | (自己評価)<br>研修会に参加し、職員会議で報告をする。  |                               |
| 9    |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                      | (自己評価)<br>説明をし、不安や疑問点を尋ね、理解や納得を図っている。  |                               |
| 10   | 6    | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                   | (自己評価)<br>重要事項説明書に苦情相談の窓口を明記し、口頭での説明も行っている。面会に来られた時に意見が言いやすいよう近況報告やケアプラン説明などし、意見を求めている。                                      |                               |
|      |      |   | (外部評価)<br>家族等に手紙や機関誌を送ったり、行事の案内をする等継続して取り組んでいる。面会の時や、行事に参加した時等の機会を見つけて家族の意見を聞き取るよう努めている。聞き取った意見については、可能な限り運営に反映できるよう取り組んでいる。 |                               |

| 自己評価                         | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------------------------------|------|--|--|-------------------------------|
| 11                           | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | <p>(自己評価)<br/>定期的にリーダー会議を行ったり、月1回の職員会議で相談したり意見を聞いている。時間が空いたときに個別に話をしている。</p> <p>(外部評価)<br/>管理者は介護の現場にいるため、職員と現場で話し合う機会が多い。また、ユニット長と話し合いを密に行うようにしており、職員からの意見を運営に反映させるよう取り組んでいる。</p> |                               |
| 12                           |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | <p>(自己評価)<br/>職員の努力など報告している。</p>   |                               |
| 13                           |      | ○職員を育てる取組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている          | <p>(自己評価)<br/>職員の希望も取り入れながら研修の参加を推進している</p>  |                               |
| 14                           |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | <p>(自己評価)<br/>研修会や他施設での行事に参加し交流を図っている</p>  |                               |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |  |  |                               |
| 15                           |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている        | <p>(自己評価)<br/>入所時に家族・本人に希望を聞いている。その後もよく話を聞くようにしている。</p>  |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 16   |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている     | (自己評価)<br>サービスの利用が必要になった状況を把握し、家族の要望に応えられるように努めている。日頃より不安感を与えないようコミュニケーションを図っている。   |                               |
| 17   |      | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価)<br>家族・本人と充分話しをし対応している。   |                               |
| 18   |      | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                    | (自己評価)<br>できることをしてもらい、できるだけ係わりを持ちながらコミュニケーションをとり支えながら生活している。芋ほりなど職員と一緒にこなっている。  |                               |
| 19   |      | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている     | (自己評価)<br>連絡を密にとり家族に不安感を与えないよう、なんでも相談できるよう心掛けている。家族会などでも話を聞くようにしている。  |                               |
| 20   | 8    | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                 | (自己評価)<br>利用者の知人・家族などいつでも面会に来ていただけるよう気持ちよく迎えたり、利用者が電話したい時は使用できるよう支援している。<br><br>(外部評価)<br>職員の多くが地元出身者で、利用者との会話に出てくる馴染みの人や場所をよく理解しており、外出する際に馴染みの場所に行く等、関係継続の支援が行われている。 |                               |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)   |
|------------------------------------|------|---|--|---|
| 21                                 |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                | (自己評価)<br>皆で一緒に出来る体操やボール遊びなど楽しんでされている。   |   |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | (自己評価)<br>契約後も相談などがあれば、応じている。  |   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |   |  |   |
| 23                                 | 9    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                        | (自己評価)<br>本人・家族と係わりに中で意向や希望を聞くように努めている。毎月の会議で意見交換している。   |   |
|                                    |      |   | (外部評価)<br>利用者の「今」を大切にするため、生活歴の聞き取りに力を入れている。また、聞き取った情報を職員間で共有しケアの質の向上に繋げるために、引継書に記載したり、ミーティング等で話し合っている。 | 利用者の生活歴等の情報の共有は、話し合いの場で行われることが多いため、会議録や介護記録とは別の様式に文書化し、利用者の理解を深める貴重な資料としてまとめることを望みたい。 |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                    | (自己評価)<br>本人・家族に聞き取りを行うことでそれまでの生活歴などの把握に努める。   |   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                  | (自己評価)<br>バイタルチェックを毎日行っている。自分のできる事や好きな事をしてもらうようにしている。本人が興味をもったものを声掛けしている。                              |   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)  |
|------|------|--|---|--|
| 26   | 10   | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | <p>(自己評価)<br/>介護計画に関して、本人・家族など意見を求めている。1ヶ月に1回職員会で話し合い、現状に則した介護計画の作成につとめている。</p> <p>(外部評価)<br/>介護計画は担当職員のモニタリングを元に話し合い、定期的に見直しを行っている。家族が言いにくい要望や、利用者の思いを細かく聞き取る取組みが行われており、利用者本位の無理のない介護目標が設定されている。</p> | 介護記録については介護計画を意識した記載方法が望まれる。また、介護目標を具体的な数値で表し達成率を出す等、利用者や職員が達成感を感じることができるよう、今後の取り組みに期待したい。 |
| 27   |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | <p>(自己評価)<br/>日々の様子やケアの実践・結果・気づきや工夫を個別記録している。それにより、職員間で情報を共有しながら介護計画の見直しに活かしている。</p>  |  |
| 28   |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる             | <p>(自己評価)<br/>本人や家族の状況に応じて、必要とされるニーズを把握しサービスできるよう努めている。</p>   |  |
| 29   |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                         | <p>(自己評価)<br/>避難訓練・美容院・地域行事への参加やボランティアの方に来てもらっている。その人にあった地域資源ができるよう支援している。</p>  |  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 30   | 11   | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に<br>し、納得が得られたかかりつけ医と事業所<br>の関係を築きながら、適切な医療を受けら<br>れるように支援している  | (自己評価)<br>本人や家族の希望を聞いて、納得できる医療を受けら<br>れるように支援している。   |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br>利用者それぞれにかかりつけ医がおり、受診支援や連<br>絡調整が行われている。協力病院との連携により日常<br>の健康管理や緊急時の対応等の体制を整えており、利<br>用者は安心して生活ができています。      |                               |
| 31   |      | ○看護職との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた<br>情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問<br>看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が<br>適切な受診や看護を受けられるように支援<br>している                           | (自己評価)<br>介護職員の気づきなど必要と思われる情報を提供し、<br>適切な看護を受けられるよう支援している。   |                               |
|      |      |  |  |                               |
| 32   |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できる<br>ように、また、できるだけ早期に退院でき<br>るように、病院関係者との情報交換や相談<br>に努めている。または、そうした場合に備<br>えて病院関係者との関係づくりを行っている。    | (自己評価)<br>入院した際は、3日に1回は面会に行き、洗濯物など必<br>要物品を届ける。その際病院関係者との情報交換をし<br>ている。  |                               |
|      |      |  |  |                               |
| 33   | 12   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支<br>援<br>重度化した場合や終末期のあり方につい<br>て、早い段階から本人・家族等と話し合い<br>を行い、事業所でできることを十分に説明<br>しながら方針を共有し、地域の関係者と共<br>にチームで支援に取り組んでいる | (自己評価)<br>本人や家族と話し合い、医師と相談しながら方針をき<br>めている。  |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br>医療的ケアは行わない方針を明確にしており、家族等<br>にも利用契約をする際に丁寧に説明しているが、利用<br>者が重度化した場合でも対応できるよう、職員教育や<br>各関係機関との連携等の支援体制は整っている。 |                               |

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------------------------------|------|--|--|-------------------------------|
| 34                               |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | (自己評価)<br>研修参加・報告を行っている。緊急時のマニュアルを作成している。  |                               |
| 35                               | 13   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | (自己評価)<br>年2回消防署の職員によって避難訓練を行っている。運営推進会議においても地域の方々との協力体制を築き、共に消防署の指導を受けている。<br><br>(外部評価)<br>平屋であるため、玄関以外にリビングや廊下からの避難ができるよう避難経路を確保している。避難訓練を定期的に行い防災に対する意識を高め、利用者の命を守ることの重要性を再確認している。 |                               |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |  |                               |
| 36                               | 14   | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている         | (自己評価)<br>個性性を重視し、自由にしてもらうような対応に努めている。<br><br>(外部評価)<br>利用者への声かけについては、親しみやすさの中にも敬う気持ちを感じられる。男性職員の食事の量を利用者が心配する等、利用者職員のお互いを思いやる温かい関係が築かれている。  |                               |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている           | (自己評価)<br>本人の意思を聞いて自己決定してもらっている。   |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 38   |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価)<br>無理強いせず本人の意見を尊重し、それにあわせて介助を行っている。  |                               |
| 39   |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | (自己評価)<br>本人の意向により一緒に買い物に行き服やスリッパなど購入している。なじみの美容院に行き、カットや毛染め・パーマなど出来るように支援している。   |                               |
| 40   | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | (自己評価)<br>利用者と共に食材切りや盛り付けなどする。月に2回お楽しみ献立日を作り利用者の食べたいものを聞きメニューに入れるようにしている。<br><br>(外部評価)<br>「手作りの食事を提供したい」と家庭的な雰囲気を重視し、利用者のために心を込めて作っている。食事中は職員が率先して利用者との会話を楽しみ、和やかな雰囲気づくりを心がけている。 |                               |
| 41   |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | (自己評価)<br>食事量・水分量のチェックをしている。水分量の少ない時は食間に飲用してもらう。  |                               |
| 42   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                  | (自己評価)<br>毎食後口腔ケアの声掛けをし、チェックをしている。  |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 43   | 16   | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている          | (自己評価)<br>排泄チェック表を使用し、個人のペースに合わせたトイレ誘導や声掛けを行っている。                                      |                               |
|      |      |   | (外部評価)<br>排泄の自立は利用者本人の自信に繋がるため、利用者一人ひとりの状況や習慣等を把握し、トイレでの自然な排泄ができるよう誘導や声かけに力を入れている。     |                               |
| 44   |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                          | (自己評価)<br>排便チェック表をつけている。自然排便を促すため牛乳や繊維質の食品の使用を心がけている。                                  |                               |
|      |      |   |  |                               |
| 45   | 17   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | (自己評価)<br>できるだけ個々に応じた入浴の支援を心がけている。   |                               |
|      |      |   | (外部評価)<br>家ではほとんど入浴しなかった利用者もホームの生活ではお風呂を心待ちにしており、職員との会話を楽しんでいる。利用者一人ひとりに合せた入浴支援ができている。 |                               |
| 46   |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                           | (自己評価)<br>体調に応じ休息をとってもらったり、夜間は個々の好きな時間に休めるようにしている。                                     |                               |
|      |      |   |  |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 47   |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている   | (自己評価)<br>処方箋を確認している。気になる病状があれば病院に指示を仰ぐなどの対応をしている。   |                               |
| 48   |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                              | (自己評価)<br>調理、塗り絵、箱折りなど本人の好きな事をしてもらっている。本人も「私の仕事」とすすんでしている。   |                               |
| 49   | 18   | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | (自己評価)<br>散歩に行ったり、買い物に行ったりして外に出る機会をもうけている。地域の行事参加をしたり、家族と外食を楽しまれたりする。  |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br>リビングが直接玄関に繋がっており、気軽に外気浴ができる。軒先が広く、行商の魚屋が玄関先に訪れた際に職員と利用者が品定めをする等、ポーチが外と内の繋がりスペースとなっている。また、散歩に出かけたり、近所の人とおしゃべりしたりと、自然な形で外出支援が行われている。 |                               |
| 50   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                              | (自己評価)<br>能力に応じ、買い物や受診の際、所持金から出してもらっている。   |                               |
| 51   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | (自己評価)<br>本人の希望に応じて電話をかけたり、手紙を出せるように支援している。  |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 52   | 19   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価)<br>季節の花や飾りを置いている。夏はゴーヤを植え緑のカーテンをしたり、冬はコタツを畳コーナーに出している。  |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br>共用空間にはダイニングテーブルやソファ以外に、小上がりの畳スペースがあり、多機能的に活用している。大きな窓から日差しが適度に入りゆったりとした雰囲気の中、利用者は思い思いの場所で過ごしている。金魚やウサギ等のペットを飼い、利用者の心を癒すことができるよう工夫している。 |                               |
| 53   |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | (自己評価)<br>畳コーナーやソファ・食堂があり、利用者の希望の場所、時間にそれぞれ過してもらっている。  |                               |
| 54   | 20   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | (自己評価)<br>家族の写真や人形、造花、大正琴など本人の趣味や生活スタイルにあわせている。  |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br>利用者の使い慣れた家具等を持ち込み、使いやすいように配置されている。また、写真や絵などが飾られており、居心地よく落ち着いて過ごせる居室となっている。どの居室からも季節ごとの外の景色が見ることができる。                                   |                               |
| 55   |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している  | (自己評価)<br>トイレや浴室など大きく名前を書き認識しやすいようにしている。安全な環境づくりを工夫している。   |                               |

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

|         |               |
|---------|---------------|
| 事業所番号   | 3873800373    |
| 法人名     | 有限会社清水商事      |
| 事業所名    | グループホーム宇和ひまわり |
| 所在地     | 西予市宇和町坂戸336-1 |
| 自己評価作成日 | H23年10月12日    |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 **※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載**

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会 |
| 所在地   | 松山市持田町三丁目8番15号    |
| 訪問調査日 | 平成23年11月11日       |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者本位でしたい事をしてもらい、笑顔で過せるような対応に努めている。自然豊かな環境で静かでゆったりと過ごせる。ホーム前にはアパートがあり、子供達も遊びに来て利用者と触れ合う機会がある。買い物や外出を多く取り入れ利用者に喜んでもらえるよう支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

近隣の住民等と気軽にあいさつをしたり、近くの農家から畑の作物をお裾分けしてもらう等、普段からの付き合いができています。また、事業所の持つ知識や機能を社会資源として活用してもらえるよう取り組んでおり、地域に貢献する姿勢がうかがえる。職員は、利用者を年長者として敬いながら、親しみやすく優しい声かけをしており、利用者本位のケアが提供され、利用者と職員がお互いを思いやる温かい関係が築かれている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   | 項目 | 取り組みの成果<br>↓該当する項目に○印   |
|----|--|---|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○ 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいの<br>3. 利用者の1/3くらいの<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)     |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○ 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                       |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66 | 職員は、活き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)  |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う   |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                     |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |    |   |

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム宇和ひまわり

(ユニット名) B棟

記入者(管理者)  
氏名 土居 ひとみ

評価完了日 23 年 10月 12 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

| 自己評価              | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|-------------------|------|--|--|-------------------------------|
| <b>I.理念に基づく運営</b> |      |  |  |                               |
| 1                 | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている   | <p>(自己評価)<br/>職員で話し合い「笑顔ある生活」と理念や指針を決め、いつでも目にするとところに貼り付け意識付けをしている</p> <p>(外部評価)<br/>「笑顔のある生活」という理念を実現させるために、利用者の状態をしっかりと見つめ、関わっている。また、職員が「笑顔」になることで「笑顔のある生活」を利用者に提供することができるよう、日々実践している。</p>                                      |                               |
| 2                 | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している   | <p>(自己評価)<br/>近所の方への挨拶や声かけをしている。輪抜け・お祭りや運動会など地域の行事参加をしたり、保育園児や婦人会からの来訪も定期的に受けている</p> <p>(外部評価)<br/>隣接しているアパートの住人や、散歩で通る道沿いの住人と気軽にあいさつができる関係が構築されている。近くの農家から畑の作物をお裾分けしてもらったり、日頃からの付き合いができています。さらに、ホームが社会資源として地域に協力できるよう努めている。</p> |                               |
| 3                 |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | <p>(自己評価)<br/>外出やボランティアの受け入れなどを通じ、理解をってもらうよう心掛けている</p>   |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)  |
|------|------|---|--|--|
| 4    | 3    | ○運営推進会議を活かした取組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている      | (自己評価)<br>行事参加で利用者の方との交流をしてもらったり、行事報告などしている。会議での意見を参考にしている。  |  |
|      |      |   | (外部評価)<br>運営推進会議と行事を関連付けて開催することで、運営推進会議の参加者に利用者の生活状況が理解してもらいやすく、利用者のサービス向上に直結する話し合いが行われている。                      |  |
| 5    | 4    | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                | (自己評価)<br>運営推進会議で実情報告を行い、意見を得ている。相談員の方には年2回来訪してもらっている。   |  |
|      |      |   | (外部評価)<br>市担当者や他のホームと連携しながら研修会や勉強会の開催等、協働しており、行政側からは地域福祉の先導役としての期待が寄せられている。市担当者とは堅固な協力関係が構築されている。                | ホームの運営がより地域に密着するためには他の社会資源とのつながりも必要である。まずは、地域包括支援センターの職員に運営推進会議への出席を呼びかけ、良好な関係構築を目指すよう取組みに期待したい。 |
| 6    | 5    | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価)<br>職員間で話し合いながら、身体拘束をしないよう取り組んでいる。玄関には開いたら音が出るような工夫をしている。  |  |
|      |      |   | (外部評価)<br>管理者は身体的な拘束はもちろん、精神的な拘束をしないよう機会を見つけて職員に伝え、時には注意を行うよう取り組んでいる。職員は言葉遣いや口調等、声かけに注意を払い、利用者の行動制限をしないよう心がけている。 |  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 7    |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている      | (自己評価)<br>利用者とのコミュニケーションでストレスをためないように会議で接し方など話し合う。   |                               |
| 8    |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | (自己評価)<br>研修会に参加し、職員会議で報告をする。  |                               |
| 9    |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                      | (自己評価)<br>説明をし、不安や疑問点を尋ね、理解や納得を図っている。  |                               |
| 10   | 6    | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                   | (自己評価)<br>重要事項説明書に苦情相談の窓口を明記し、口頭での説明も行っている。面会に来られた時に意見が言いやすいよう近況報告やケアプラン説明などし、意見を求めている。                                      |                               |
|      |      |   | (外部評価)<br>家族等に手紙や機関誌を送ったり、行事の案内をする等継続して取り組んでいる。面会の時や、行事に参加した時等の機会を見つけて家族の意見を聞き取るよう努めている。聞き取った意見については、可能な限り運営に反映できるよう取り組んでいる。 |                               |

| 自己評価                        | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|-----------------------------|------|--|---|-------------------------------|
| 11                          | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | (自己評価)<br>定期的にリーダー会議を行ったり、月1回の職員会議で相談したり意見を聞いている。時間が空いたときに個別に話をしている。<br><br>(外部評価)<br>管理者は介護の現場にいるため、職員と現場で話し合う機会が多い。また、ユニット長と話し合いを密に行うようにしており、職員からの意見を運営に反映させるよう取り組んでいる。 |                               |
| 12                          |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | (自己評価)<br>職員の努力など報告している。  |                               |
| 13                          |      | ○職員を育てる取組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている          | (自己評価)<br>職員の希望も取り入れながら研修の参加を推進している   |                               |
| 14                          |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | (自己評価)<br>研修会や他施設での行事に参加し交流を図っている   |                               |
| <b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |  |   |                               |
| 15                          |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている        | (自己評価)<br>入所時に家族・本人に希望を聞いている。その後もよく話を聞くようにしている。   |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 16   |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている     | (自己評価)<br>サービスの利用が必要になった状況を把握し、家族の要望に応えられるように努めている。日頃より不安感を与えないようコミュニケーションを図っている。   |                               |
| 17   |      | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価)<br>家族・本人と充分話しをし対応している。   |                               |
| 18   |      | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                    | (自己評価)<br>できることをしてもらい、できるだけ係わりを持ちながらコミュニケーションをとり支えながら生活している。芋ほりなど職員と一緒にこなっている。  |                               |
| 19   |      | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている     | (自己評価)<br>連絡を密にとり家族に不安感を与えないよう、なんでも相談できるよう心掛けている。家族会などでも話を聞くようにしている。  |                               |
| 20   | 8    | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                 | (自己評価)<br>利用者の知人・家族などいつでも面会に来ていただけるよう気持ちよく迎えたり、利用者が電話したい時は使用できるよう支援している。<br><br>(外部評価)<br>職員の多くが地元出身者で、利用者との会話に出てくる馴染みの人や場所をよく理解しており、外出する際に馴染みの場所に行く等、関係継続の支援が行われている。 |                               |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)   |
|------------------------------------|------|---|--|---|
| 21                                 |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                | (自己評価)<br>皆で一緒に出来る体操やボール遊びなど楽しんでされている。   |   |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | (自己評価)<br>契約後も相談などがあれば、応じている。  |   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |   |  |   |
| 23                                 | 9    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                        | (自己評価)<br>本人・家族と係わりに中で意向や希望を聞くように努めている。毎月の会議で意見交換している。   |   |
|                                    |      |   | (外部評価)<br>利用者の「今」を大切にするため、生活歴の聞き取りに力を入れている。また、聞き取った情報を職員間で共有しケアの質の向上に繋げるために、引継書に記載したり、ミーティング等で話し合っている。 | 利用者の生活歴等の情報の共有は、話し合いの場で行われることが多いため、会議録や介護記録とは別の様式に文書化し、利用者の理解を深める貴重な資料としてまとめることを望みたい。 |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                    | (自己評価)<br>本人・家族に聞き取りを行うことでそれまでの生活歴などの把握に努める。   |   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                  | (自己評価)<br>バイタルチェックを毎日行っている。自分のできる事や好きな事をしてもらうようにしている。本人が興味をもったものを声掛けしている。                              |   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ)  |
|------|------|--|---|--|
| 26   | 10   | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | <p>(自己評価)<br/>介護計画に関して、本人・家族など意見を求めている。1ヶ月に1回職員会で話し合い、現状に則した介護計画の作成につとめている。</p> <p>(外部評価)<br/>介護計画は担当職員のモニタリングを元に話し合い、定期的に見直しを行っている。家族が言いにくい要望や、利用者の思いを細かく聞き取る取組みが行われており、利用者本位の無理のない介護目標が設定されている。</p> | 介護記録については介護計画を意識した記載方法が望まれる。また、介護目標を具体的な数値で表し達成率を出す等、利用者や職員が達成感を感じることができるよう、今後の取り組みに期待したい。 |
| 27   |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | <p>(自己評価)<br/>日々の様子やケアの実践・結果・気づきや工夫を個別記録している。それにより、職員間で情報を共有しながら介護計画の見直しに活かしている。</p>  |  |
| 28   |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | <p>(自己評価)<br/>本人や家族の状況に応じて、必要とされるニーズを把握しサービスできるよう努めている。</p>   |  |
| 29   |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                         | <p>(自己評価)<br/>避難訓練・美容院・地域行事への参加やボランティアの方々にきてもらっている。その人にあった地域資源ができるよう支援している。</p>   |  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 30   | 11   | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に<br>し、納得が得られたかかりつけ医と事業所<br>の関係を築きながら、適切な医療を受けら<br>れるように支援している  | (自己評価)<br>本人や家族の希望を聞いて、納得できる医療を受けら<br>れるように支援している。   |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br>利用者それぞれにかかりつけ医がおり、受診支援や連<br>絡調整が行われている。協力病院との連携により日常<br>の健康管理や緊急時の対応等の体制を整えており、利<br>用者は安心して生活ができています。      |                               |
| 31   |      | ○看護職との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた<br>情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問<br>看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が<br>適切な受診や看護を受けられるように支援<br>している                           | (自己評価)<br>介護職員の気づきなど必要と思われる情報を提供し、<br>適切な看護を受けられるよう支援している。   |                               |
|      |      |  |  |                               |
| 32   |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できる<br>ように、また、できるだけ早期に退院でき<br>るように、病院関係者との情報交換や相談<br>に努めている。または、そうした場合に備<br>えて病院関係者との関係づくりを行っている。    | (自己評価)<br>入院した際は、3日に1回は面会に行き、洗濯物など必<br>要物品を届ける。その際病院関係者との情報交換をし<br>ている。  |                               |
|      |      |  |  |                               |
| 33   | 12   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支<br>援<br>重度化した場合や終末期のあり方につい<br>て、早い段階から本人・家族等と話し合い<br>を行い、事業所でできることを十分に説明<br>しながら方針を共有し、地域の関係者と共<br>にチームで支援に取り組んでいる | (自己評価)<br>本人や家族と話し合い、医師と相談しながら方針をき<br>めている。  |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br>医療的ケアは行わない方針を明確にしており、家族等<br>にも利用契約をする際に丁寧に説明しているが、利用<br>者が重度化した場合でも対応できるよう、職員教育や<br>各関係機関との連携等の支援体制は整っている。 |                               |

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|----------------------------------|------|--|--|-------------------------------|
| 34                               |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | (自己評価)<br>研修参加・報告を行っている。緊急時のマニュアルを作成している。  |                               |
| 35                               | 13   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | (自己評価)<br>年2回消防署の職員によって避難訓練を行っている。運営推進会議においても地域の方々との協力体制を築き、共に消防署の指導を受けている。<br><br>(外部評価)<br>平屋であるため、玄関以外にリビングや廊下からの避難ができるよう避難経路を確保している。避難訓練を定期的に行い防災に対する意識を高め、利用者の命を守ることの重要性を再確認している。 |                               |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |  |                               |
| 36                               | 14   | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている         | (自己評価)<br>個性性を重視し、自由にしてもらうような対応に努めている。<br><br>(外部評価)<br>利用者への声かけについては、親しみやすさの中にも敬う気持ちが感じられる。男性職員の食事の量を利用者が心配する等、利用者職員のお互いを思いやる温かい関係が築かれている。  |                               |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている           | (自己評価)<br>本人の意思を聞いて自己決定してもらっている。   |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 38   |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価)<br>無理強いせず本人の意見を尊重し、それにあわせて介助を行っている。  |                               |
| 39   |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | (自己評価)<br>本人の意向により一緒に買い物に行き服やスリッパなど購入している。なじみの美容院に行き、カットや毛染め・パーマなど出来るように支援している。   |                               |
| 40   | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | (自己評価)<br>利用者と共に食材切りや盛り付けなどする。月に2回お楽しみ献立日を作り利用者の食べたいものを聞きメニューに入れるようにしている。<br><br>(外部評価)<br>「手作りの食事を提供したい」と家庭的な雰囲気を重視し、利用者のために心を込めて作っている。食事中は職員が率先して利用者との会話を楽しみ、和やかな雰囲気づくりを心がけている。 |                               |
| 41   |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | (自己評価)<br>食事量・水分量のチェックをしている。水分量の少ない時は食間に飲用してもらう。  |                               |
| 42   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                  | (自己評価)<br>毎食後口腔ケアの声掛けをし、チェックをしている。  |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 43   | 16   | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている          | (自己評価)<br>排泄チェック表を使用し、個人のペースに合わせたトイレ誘導や声掛けを行っている。                                      |                               |
|      |      |   | (外部評価)<br>排泄の自立は利用者本人の自信に繋がるため、利用者一人ひとりの状況や習慣等を把握し、トイレでの自然な排泄ができるよう誘導や声かけに力を入れている。     |                               |
| 44   |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                          | (自己評価)<br>排便チェック表をつけている。自然排便を促すため牛乳や繊維質の食品の使用を心がけている。                                  |                               |
|      |      |   |  |                               |
| 45   | 17   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | (自己評価)<br>できるだけ個々に応じた入浴の支援を心がけている。   |                               |
|      |      |   | (外部評価)<br>家ではほとんど入浴しなかった利用者もホームの生活ではお風呂を心待ちにしており、職員との会話を楽しんでいる。利用者一人ひとりに合せた入浴支援ができている。 |                               |
| 46   |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                           | (自己評価)<br>体調に応じ休息をとってもらったり、夜間は個々の好きな時間に休めるようにしている。                                     |                               |
|      |      |   |  |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 47   |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている   | (自己評価)<br>処方箋を確認している。気になる病状があれば病院に指示を仰ぐなどの対応をしている。   |                               |
| 48   |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                              | (自己評価)<br>調理、塗り絵、箱折りなど本人の好きな事をしてもらっている。本人も「私の仕事」とすすんでしている。   |                               |
| 49   | 18   | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | (自己評価)<br>散歩に行ったり、買い物に行ったりして外に出る機会をもうけている。地域の行事参加をしたり、家族と外食を楽しまれたりする。  |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br>リビングが直接玄関に繋がっており、気軽に外気浴ができる。軒先が広く、行商の魚屋が玄関先に訪れた際に職員と利用者が品定めをする等、ポーチが外と内の繋がりスペースとなっている。また、散歩に出かけたり、近所の人とおしゃべりしたりと、自然な形で外出支援が行われている。 |                               |
| 50   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                              | (自己評価)<br>能力に応じ、買い物や受診の際、所持金から出してもらっている。   |                               |
| 51   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | (自己評価)<br>本人の希望に応じて電話をかけたり、手紙を出せるように支援している。  |                               |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容<br>(外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 52   | 19   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価)<br>季節の花や飾りを置いている。夏はゴーヤを植え緑のカーテンをしたり、冬はコタツを畳コーナーに出している。  |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br>共用空間にはダイニングテーブルやソファ以外に、小上がりの畳スペースがあり、多機能的に活用している。大きな窓から日差しが適度に入りゆったりとした雰囲気の中、利用者は思い思いの場所で過ごしている。金魚やウサギ等のペットを飼い、利用者の心を癒すことができるよう工夫している。 |                               |
| 53   |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | (自己評価)<br>畳コーナーやソファ・食堂があり、利用者の希望の場所、時間にそれぞれ過してもらっている。  |                               |
| 54   | 20   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | (自己評価)<br>家族の写真や人形、造花、大正琴など本人の趣味や生活スタイルにあわせている。  |                               |
|      |      |  | (外部評価)<br>利用者の使い慣れた家具等を持ち込み、使いやすいように配置されている。また、写真や絵などが飾られており、居心地よく落ち着いて過ごせる居室となっている。どの居室からも季節ごとの外の景色が見ることができる。                                   |                               |
| 55   |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している  | (自己評価)<br>トイレや浴室など大きく名前を書き認識しやすいようにしている。安全な環境づくりを工夫している。   |                               |